

履歴書 令和5年9月1日現在

氏名: 永橋 昌幸 (ながはし まさゆき)

生年月日: 昭和52年7月29日生 (満 46歳)

勤務先:

兵庫医科大学 医学部 乳腺・内分泌外科
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL: 0798-45-6374 FAX: 0798-45-6252 Email: ma-nagahashi@hyo-med.ac.jp

現職: 兵庫医科大学 医学部 乳腺・内分泌外科 准教授

略歴:

平成14年3月	新潟大学医学部医学科 卒業
平成14年5月	新潟大学医学部付属病院で外科研修医として研鑽
平成16年4月	新潟大学第一外科 (現 消化器・一般外科) 入局
平成20年3月	新潟大学大学院医歯学総合研究科博士課程 修了
平成21年4月	バージニア州立大学腫瘍外科学教室にてポスドク研究員として勤務
平成24年4月	日本学術振興会海外特別研究員兼任
平成26年5月	新潟大学大学院医歯学総合研究科 腫瘍内科 助教
平成27年5月	新潟大学医歯学総合病院 消化器・一般外科 講師
平成28年10月	新潟大学研究推進機構研究准教授 併任
平成30年5月	ロズウェルパーク癌研究所腫瘍学客員准教授 併任
令和3年4月	兵庫医科大学 乳腺・内分泌外科 講師
令和3年10月	兵庫医科大学 乳腺・内分泌外科 准教授

資格:

平成14年5月	医師免許証
平成20年3月	博士 (医学) の学位授与 (新潟大学)

学会等における活動状況:

(1) 主な所属学会の名称

日本外科学会、日本乳癌学会、日本臨床腫瘍学会、日本癌治療学会、日本消化器外科学会、日本乳癌検診学学会、日本乳房オンコプラスティックサーディナー学会、日本人類遺伝学会、日本遺伝性腫瘍学会、日本臨床外科学会、日本内分泌外科学会、日本消化器病学会、日本外科代謝栄養学会、日本静脈経腸栄養学会、日本肝胆脾外科学会、日本胆道学会、日本胃癌学会、日本大腸肛門病学会、日本内視鏡外科学会、日本癌学会
American Association for Cancer Research (AACR)、American College of Surgeons (ACS)、American Society of Clinical Oncology (ASCO)、Association for Academic Surgery (AAS)、European Society for Medical Oncology (ESMO)
International Society of Surgery (ISS)

(2) 占める地位

日本外科学会	外科専門医
日本乳癌学会	乳腺専門医、乳腺認定医、評議員、患者・市民参画委員、登録・データサイエンス委員
日本臨床腫瘍学会	がん薬物療法専門医
日本がん治療認定機構	がん治療認定医
日本消化器外科学会	消化器外科専門医、消化器がん外科治療認定医
日本乳がん検診制度管理中央機構	検診マンモグラフィ読影認定医
NRG Oncology Japan	活性化委員
American College of Surgeons (ACS)	Fellow of American College of Surgeons (FACS)
International Society of Surgery (ISS)	Member、日本支部会員

受賞歴：

1. 第73回新潟県立病院医学会 第一位受賞 平成20年9月
2. The 64th Annual Cancer Symposium of the Society of Surgical Oncology: Best Basic and Translational Research Poster (First Prize) Winner 平成23年3月
3. VCU Postdoctoral Association Spring 2011 Semester Travel Award 平成23年3月
4. American College of Surgeons 97th Annual Clinical Congress: Excellence in Research Award 平成23年10月
5. VCU Massey Cancer Center Retreat: Excellence in Cancer Research Award 平成23年11月
6. 8th Annual VCU Women's Health Research Day: Basic Science Award 平成24年4月
7. 8th Annual VCU Women's Health Research Day: Elizabeth Fries Young Investigator Award 平成24年4月
8. 新潟大学医学部学士会 第16回有壬記念学術奨励賞 平成24年6月
9. 48th Annual Southeastern Regional Lipid Conference: Travel Grant Award 平成25年11月
10. The 67th Annual Cancer Symposium of the Society of Surgical Oncology: Best Basic and Translational Research Poster contest: Top 5 poster 平成26年3月
11. 第6回新潟病理同窓会賞 平成26年5月
12. 第13回日本臨床腫瘍学会学術集会: 学術奨励賞 平成27年7月
13. The 46th World Congress of Surgery: Yokohama Award 平成27年8月
14. 平成27年度新潟県医師会学術奨励賞 平成27年10月
15. 新潟大学学長賞 平成27年11月
16. 新潟大学研究推進機構研究准教授 平成28年10月
17. 第25回外科侵襲とサイトカイン研究会 会長賞 平成30年7月
18. 日本消化器外科学会賞 (若手医師部門) 平成30年7月
19. 日本医師会医学研究奨励賞 平成30年11月

外部研究費（科学研究費補助金・各種研究助成金）獲得状況（研究代表者）：

1) 科学研究費

研究費名称：科学研究費 基盤研究(B)

年 度：令和4年度～令和6年度 研究期間：3年間

研究課題名：乳癌における脂質メディエーターを標的とする薬物送達システムを用いた新規治療の開発

研究費名称：科学研究費 挑戦的研究（萌芽）

年 度：令和3年度～令和5年度 研究期間：3年間

研究課題名：トリプルネガティブ乳癌におけるTP53と脂質分子の相補的な細胞制御機構の解明

研究費名称：科学研究費 基盤研究(B)

年 度：平成31年度～令和3年度 研究期間：3年間

研究課題名：乳癌免疫微小環境における脂質メディエーター分子の役割解明と治療応用を目指した研究

研究費名称：科学研究費 挑戦的研究（萌芽）

年 度：平成30年度～令和2年度 研究期間：3年間

研究課題名：S1Pの癌代謝制御機構に着眼したトリプルネガティブ乳癌の病態と薬剤耐性機序の解明

研究費名称：科学研究費 若手研究(A)

年 度：平成27年度～平成29年度 研究期間：3年間

研究課題名：脂質メディエーターを介した癌と宿主の相互作用による乳癌の浸潤・転移機序の解明

研究費名称：科学研究費 挑戦的萌芽研究

年 度：平成27年度～平成29年度 研究期間：3年間

研究課題名：メタボローム解析による乳癌代謝動態に関与する脂質メディエーター分子機構の解明

2) 日本学術振興会交付

研究費名称：日本学術振興会 海外特別研究員

研究期間：2012.4.15–2014.4.14

研究課題名：肥満による乳癌の発育進展におけるスフィンゴシン 1 リン酸の役割

3) その他の公的外部資金

研究費名称：公益財団法人上原記念生命科学財団 研究助成金

研究期間：2019.1.1–2020.3.31

研究課題名：スキルス胃癌におけるS1P分子機構の解明と臨床的意義

研究費名称：平成27年度新潟県医師会学術研究助成

研究期間：2018.10.31–2019.3.31

研究課題名：トリプルネガティブ乳癌におけるスフィンゴシン-1-リン酸分子機構の解明

研究費名称：公益財団法人 武田科学振興財団

研究期間：2015.7.1–2017.3.31

研究課題名：乳癌の代謝動態と薬剤耐性機構における脂質メディエーターの役割

研究費名称：公益財団法人中山がん研究所 消化器疾患研究助成金

研究期間：2015.4.1–2016.3.31

研究課題名：脂質メディエーターを介した癌と宿主の相互作用による肺癌の浸潤・転移機序の解明

研究費名称：公益財団法人 上原記念生命科学財団 研究奨励金

研究期間：2015.1.1–2016.3.31

研究課題名：脂質メディエーターによる乳癌の前転移ニッチ形成機序

主な学術論文（5 selected papers）（英文論文の総数 151 編）：

1. **Nagahashi M* (*Corresponding author)**, Ling Y, Toshikawa C, Hayashida T, Kitagawa Y, Futamura M, Kuwayama T, Nakamura S, Yamauchi H, Yamauchi T, Kaneko K, Kanbayashi C, Sato N, Tsuchida J, Moro K, Nakajima M, Shimada Y, Ichikawa H, Lyle S, Miyoshi Y, Takabe K, Okuda S, Wakai T. Shimada Y, Ichikawa H, Kameyama H, Takabe K, Okuda S, Wakai T
Copy number alteration is an independent prognostic biomarker in triple-negative breast cancer patients
Breast Cancer 2023 (In press)
2. **Nagahashi M* (*Corresponding author)**, Yamada A, Katsuta E, Aoyagi T, Huang WC, Terracina KP, Hait NC, Allegood JC, Tsuchida J, Yuza K, Nakajima M, Abe M, Sakimura K, Milstien S, Wakai T, Spiegel S, Takabe K
Targeting the SphK1/S1P/S1PR1 axis that links obesity, chronic inflammation and breast cancer metastasis
Cancer Research 2018;78:1713-1725
3. **Nagahashi M* (*Corresponding author)**, Ling Y, Hayashida T, Kitagawa Y, Futamura M, Yoshida K, Kuwayama T, Nakamura S, Toshikawa C, Yamauchi H, Yamauchi T, Kaneko K, Kanbayashi C, Sato N, Miyoshi Y, Tsuchida J, Nakajima M, Shimada Y, Ichikawa H, Lyle S, Takabe K, Okuda S, Wakai T
Actionable gene alterations in an Asian population with triple-negative breast cancer
JCO Precision Oncology 2018;2:PO.17.00211
4. Liang J†, **Nagahashi M† (+Equal contribution)**, Kim EY†, Harikumar KB, Yamada A, Huang WC, Hait NC, Allegood JC, Price MM, Avni D, Takabe K, Kordula T, Milstien S, Spiegel S
Sphingosine-1-phosphate links persistent STAT3 activation, chronic intestinal inflammation, and development of colitis-associated cancer
Cancer Cell 2013;23:107-120
5. **Nagahashi M**, Ramachandran S, Kim EY, Allegood JC, Rashid OM, Yamada A, Zhao R, Milstien S, Zhou H, Spiegel S, Takabe K
Sphingosine kinase 1-induced sphingosine-1-phosphate promotes breast cancer progression by stimulating angiogenesis and lymphangiogenesis
Cancer Research 2012;72:726-735